

南山スタイル「学びのスタンダード」指導のポイント

○ 授業の始めと終わりにあいさつをします

意 義	授業への心の切り替えができます
指導の仕方	挨拶で姿勢を整えることを意識させる 大きな声ではっきりと挨拶をして、礼を徹底する
配慮事項	特に終わりの挨拶では、礼が終わる前に動かないように気を付けます

○ よい姿勢で座ります

意 義	気持ちが落ち着き、集中力が高まります
指導の仕方	「グー」机とお腹の間 「ペタ」足の裏を床につける 「ピン」背筋を伸ばすことを意識させる。発表する時の手の挙げ方や立って話すときの姿勢を指導する
配慮事項	「グー」「ペタ」「ピン」などの言葉は学年に応じた表現で指導する 全校共通の絵を作成し、示す

○ 「声のものさし」に合わせた大きさと話をします

意 義	表現力が高まり、場に応じた話し方が身に付きます
指導の仕方	最後まで話すようにする 目的、時、場に応じた言葉遣いで話すようにする
配慮事項	「こえのものさし」の掲示物を活用する

○ 最後まで静かに話を聴きます

意 義	相手を意識し、共に学ぼうとする心が養われます
指導の仕方	話の途中で私語をさせないようにする 作業は中断して、手には何も持たないで聴くようにする
配慮事項	話し手に対する思いやりの心を大切にして、耳と目と心で「聴く」ようにする

○ 字をていねいに書きます

意 義	自分でまとめる姿勢が身に付きます
指導の仕方	授業の板書計画を大切にする 机間指導で丁寧に書けて場合は称賛し、書けていない場合は書き直すよう指導する
配慮事項	書く時間をしっかりと確保する 気持ちを込めて丁寧に書くように指導する

○ 名前を呼ばれたら「はい」と返事をします

意 義	積極的に学習する姿勢が身に付きます
指導の仕方	大きく、短く「はい!」と返事をさせる
配慮事項	「返事」は挨拶の基礎であると捉え、学校生活の様々な場面において学校全体で指導する

□ 必要な学習用具は前日までに用意します

意 義	事前に準備することから計画的に考える態度が培われます 学習道具を揃えて授業に臨むことによって、学習への意欲が高まります
指導の仕方	帰りの会や連絡帳などに記録させる
配慮事項	記入の時間を確保して、学習意欲の定着を図る

□ 宿題や家庭学習に取り組みます

意 義	日常の授業における意欲が高まります 自ら学ぶ力や生涯にわたって学び続ける習慣が身に付きます
指導の仕方	「学年×10分」を目安として、各学年、各学級の実態に応じて時間を決めて指導する
配慮事項	低学年は学校からの課題（宿題）を中心に、高学年は復習や予習を中心に行えるよう家庭学習の内容を工夫する 家庭との連携を図り、自主的に学ぶ姿勢、学ぶ習慣の定着を図る

